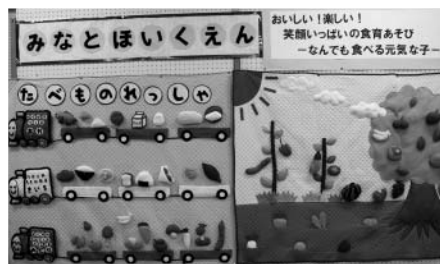


社協だより

第106号

平成26年1月23日発行

編集・発行 社会福祉法人 香美町社会福祉協議会
〒669-6545 香美町香住区森31-1 香美町香住地域福祉センター内
TEL 0796-39-2050 TEL 0796-36-2758 FAX 0796-39-2150
ホームページアドレス <http://www.kami-shakyo.org/>



とどけます みんなの元気

1 番になりました!! (宗教法人 願行寺 みなと保育園 香住区一日市)

みなと保育園では、“質の高い保育”が一番重要だと考え、単に字を覚えたり、算数ができたりすることよりも、子どもが遊びを自分で選び、自分で考える力を身につけることで育つ安心感、基本的信頼感が、『生きていく上での大切な力』となるように。そんな想いをこめて、日々ていねいな保育をされています。

平成25年11月に行われた兵庫県保育大会では、野菜・果物のタペストリーと絵カードで、手作り玩具の部最優秀賞を受賞されました。主任の渡部忍さんは「この玩具で楽しく遊びながら、『おいしい』『楽しい』と食べることを楽しみ、全ての物や人に感謝の気持ちを持つ『何でも食べる元気な子』になっていくことを願っています。」と話されました。

《 今月の主な内容 》

新年のごあいさつ 2
介護保険事業所紹介(ケアマネジャー) 3
香美町ボランティアセンターだより 4~5

みんなの幸せを目指した集落福祉活動 ... 6
車輛を寄贈いただきました 7
賛助会費ご加入のお礼 7
けいじばん 8



新年のごあいさつ

香美町社会福祉協議会

会長 田中 秀 春



『ストップ・ザ・無縁社会』。真に人と人とのつながり、心と心のつながりが大切ではないでしょうか。

昨年、の世相を一字で表す漢字が『輪』

でありました。

新年あけましておめでとうございます。2014年の正月をご家族お揃いでお健やかに迎えられたこととお慶び申し上げます。

平素より香美町社会福祉協議会に対し、絶大なるご理解とご支援を賜っておりますことに、心より感謝申し上げます。

さて、今年の冬は早くから雪が降り、お正月休みにも積雪があり、町内のスキー場は賑やかだったのではないのでしょうか。又例年になく長い休暇となり、帰省客はもとより、冬の味覚「カニ」等の観光客も多かったことと思います。

昨年はアベノミクス効果で円安が進み同時に株価も高騰し、全国的に景気が上向きになって

きていることは間違いないですが、まだまだ我が地域では実感がわかないのが現実です。その上、今年4月1日からは消費税は5パーセントから8パーセントに上がります。日常生活はきびしくなってくると思いますが、何とか景気が今以上に回復することを願うばかりでございます。

こうしたきびしい状況の下、我が香美町の少子高齢化がどんどん進んでいます。高齢化率は県下一で33・7パーセントであります。

地域内でのコミュニケーションの崩壊、一人暮らし高齢者の増加、人と人とのつながりの希薄化が進み、福祉に対する生活課題も多様化しています。一昨年から県下で取り組んでいます

2020年の東京五輪の決定や、富士山の世界文化遺産登録がたくさんの方々の努力で、またチームワークで実現したことで、国内外で起きた災害からの復興に支援の輪が広がったことが理由でした。東日本大震災からもうすぐ3年目になりますが、一日も早い復興に向け、皆で力を合わせて、平和の輪が広がることを願うものであります。

さて、香美町社会福祉協議会では、「社協経営計画」と「地域福祉推進計画」に沿って、基本理念であります「ささえあい安心して暮らせるまちづくり」の実現のため努力をしております。しかし今の「社協経営計画」は平成26年で終了しますので、

改めて計画を策定しなければなりません。

毎年、計画を見直ししながら進めていますが、これまで住民の皆様、さらに各関係団体の方々と意見を交わす中で、貴重なご意見をたくさん拝聴いたしました。これらを総合的に精査をして、「安心・安全」な地域づくりの土台となりうる「社協経営計画」を策定したいと考えています。

これからも住民一人ひとりのニーズに合った福祉サービスの展開ができますよう、同時に地域福祉の充実に向け、精一杯努力して参りますので、今後とも益々のご支援をお願いすると共に、皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げます、挨拶とさせていただきます。



介護保険事業所紹介

シリーズ③ ケアマネジャー



▲ 前列左から岩槻、西村 後列左から坂中、久保井、福田

村岡居宅介護支援事業所は、デイサービスと訪問介護事業所が同じ建物内にあるため、デイサービスや訪問介護の職員との連携が取りやすく、お客様の様子を把握しやすい、という利点があります。ケアマネジャーは、お客様

●村岡居宅介護支援事業所

「介護が必要になっても、住み慣れた我が家で安心して暮らしたい」そんな願いを実現するため、ご本人やご家族と一緒に今後の生活を考え、福祉や医療・保健サービスとを結び架け橋となる、在宅介護のパートナー、それがケアマネジャーです。



▲ 前列左から永田、蔵野 後列左から竹中、毛戸

香住ふれ愛介護センターは、看護師や歯科医師など、医療関係の資格を持ったスタッフが、多いのが特徴です。まずは、お客様やご家族との信頼関係を作ることを、大切にしています。わからないことがあれば、一人で抱え込まずに、まずご相談ください。

●香住ふれ愛介護センター 居宅介護支援事業所

一人一人のこれまでの人生を尊重し、その人らしい生活が送れるよう、しっかりとご本人やご家族の思いを受け止めていきたいと考えています。不安なこと、疑問や悩みがあれば気軽に声をかけてください。

香美町 ボランティアセンターだより

1日限定!! 除雪ボランティア募集!

除雪の担い手不足や豪雪を想定してモデル的に除雪ボランティア活動を実施します。

『何をしていいかわからないけど、なにか人の役に立ちたい!』『一日だけならボランティアできるかも!』

『うちはあんまり降らんから、ちょっと手伝いに行ってみようか』など、気楽な気持ちでご参加ください。

◆と き **平成26年 2月16日(日)**

午前9時(村岡地域局前集合)～午後4時(村岡地域局前解散)

◆ところ **村岡区高坂・相岡**

◆内 容 高齢者宅の除雪作業(生活道路の除雪)

◆定 員 50名

◆持ち物 着替え、長靴、手袋、昼食、飲み物、
スコップ、スノーダンプ 等

◆その他 企業や団体、グループ等での申込みもできます。
参加者の方へ、後日詳しいお知らせを郵送します。



申込み・問い合わせ

社 協
村岡支所

電 話 0796-98-1000 (平日9時～17時)

FAX 0796-98-1477 / メール muraoka@kami-wel.jp

豪雪に備えて除雪ボランティア演習実施

高齢化率が高くなるにつれて、全国的に除雪の担い手不足が課題になっています。その課題対策の1つとして、ボランティアによる除雪活動があげられています。

今年度は、国土交通省の「雪処理の担い手確保・育成のための克雪体制支援調査」の指定を受けていることから、雪害に詳しい新潟県の中越防災安全推進機構の諸橋和行さん方々をアドバイザーに迎え、大雪を克服する方法について助言をいただきながら香美町内の除雪ボランティア体制作りを進めています。

11月24日には、雪が降るという実感がわかない中ではありましたが、豪雪時における除雪のボランティア活動がスムーズに行うことができるよう、除雪ボランティア演習を行いました。

今回は村岡区高坂、山田の皆さんの協力を得て、集落の体制作りや、ボランティアの受け入れから現地での除雪まで一連の活動の流れについて一つひとつ確認を行いました。

アドバイザーの諸橋さんからは、ボランティアが安全に活動するには、どのような準備をしておくといいのか、受け入れる集落にはどのような役割があるのかなどのお話を聞きました。

この演習の反省をふまえ、さらに検討をし、上記のとおり『除雪ボランティア活動』をモデル的に実施します。

誰もが、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、除雪ボランティア活動の体制づくりの強化を進めていきますので、皆さまのご協力をよろしくお願いたします。



▲ 区長さんに、積雪時の集落内の様子などを説明していただきました。

シリーズ **がんばれ!! ボランティア**

香住区 点字サークル『香住てんとうむし'90』

vol.4

▶ 小学校での福祉体験学習。
さあ、点字を打ってみよう。



香住てんとうむし'90は点字サークルです。現在12名の会員で構成しており、そのうち7名は、小学2年生を最年少とする学生のボランティアです。

主な活動としては、月1回の定例会時に依頼のあった観光パンフレットの点訳をしたり、福祉学習で点字体験の希望があれば、学校へ訪問して指導を行っています。以前は

自分の好きな絵本を点訳しながら、勉強したこともあったそうです。

活動の始まりは、社協が開催した「点字体験教室」に参加した皆さんが、「せっかく学習したことを、これで終わらせるのはもったいない！何か自分たちでできないか・・・」と集まったことがきっかけのこと。

試行錯誤しながら最初に取り組んだのは旧香住町の観光パンフレットの点訳でした。点字新聞に紹介され、全国から何件か問い合わせもあったそうです。

「色々な情報を伝えることで、障害を抱えた方が少しでも暮らしやすいと感じてくれるお手伝いができれば」と代表の谷渕みづほさん。また、福祉学習では「子どもたちが思った以上に関心を示してくれることがうれしい。点字について調べたり、自分のまわりにある点字を探してくれたり。

体験をきっかけに大切なことに気づいたり、自分にできることを考えてくれるとありがたいです」と話されました。



▲ 完成した点字の観光パンフレット

「今後は誰でも点字を体験できる機会を作って、一人でも多くの人に点字を知ってもらいたい。そして目が不自由であっても楽しめる場所がどんどん増えていくといいな」と思いを語ってくれました。最後に「点字は決して難しいものではありません。若い会員たちも楽しみながら、が

んばって活動を続けています。香美町にもいろいろなところに点字表記のあるものが増えてきました。点字を必要としている人がいれば、それに応えていきたい。私たちにお手伝いできることがあれば、ぜひ声をかけてください」と力強く話してくださいました。



▲ 定例会での、観光パンフレットの点訳。目の不自由な方にも香美町の魅力を伝えたい！



いきいきサロンの方法 『ふれあい喫茶（茶話会）』

『いきいきサロンの現状』

社会福祉協議会では、集落のみなさんの力を借りながら、「いきいきサロン」を進めてきました。いきいきサロンでは地域住民の世代を超えた交流の他、閉じこもり予防やゆるやかな見守りなどの効果も期待できます。現在、香美町内には118のいきいきサロンがありますが、中には、サロンがイベント化してしまい毎回の内容を考える事が世話役（スタッフ）の負担となっているサロンや、次の世話役（スタッフ）がいらないため、活動に行き詰まっているサロンもあります。

『ふれあい喫茶（茶話会）という方法』

今回紹介する「ふれあい喫茶」という方法は、文字どおり集落内に喫茶店のような、誰でも自由に気軽に

立ち寄れる「場」を設定する事に視点を置いています。

世話役（スタッフ）は、施設の鍵の開け閉めと、お湯をわかしておくことで、誰もが立ち寄りやすい「場」作りをします。世話役も参加者と一緒になって自由におしゃべりなどを楽しんでもらいます。参加者は、「楽しませてもらう」という受け身な姿勢ではなく、自ら「楽しみに行く」という主体的な姿勢で参加することが基本となります。



『豊岡市の取り組み』

豊岡市日高町東構区では、ボランティア6名でふれあい喫茶『だんだん』を毎週水曜日に区の公民館で開催しています。開催日には多くの人が来られ、コーヒーを飲みながらおしゃべりや将棋など自分の好きな事をして自由な時間を過ごされます。また「ふれあい喫茶」という交流の場を通して、閉じこもりの予防やゆるやかな見守りにもつながっています。実際に、毎週参加されていた男性が来られていない事を気にしたスタッフが、男性の近所のお宅に連絡し、男性が入院したという情報を得たケースがありました。

同じく豊岡市日高町の鶴岡区でもふれあい喫茶「友鶴」を毎週日曜日に開催しています。休日の開催という事もあり、小さなお子さ

んや小学生、中学生、その親世代の参加もあり、世代を超えた交流の「場」になっています。

『ポイント』

「ふれあい喫茶（茶話会）」では、営業中ならいつ来ても、いつ帰っても自由なので、畑作業の休憩や、散歩の途中に気軽に立ち寄ることができます。

また、世話役の仕事も、施設の鍵の開閉が主なものであり、複数の世話役がいれば、負担を感じず、無理なく実施することができま

す。「場」を作る事に重きをおき、「誰もが」「気軽に」「自由に」「楽しく」つどえ、「無理なく」実施できる「ふれあい喫茶（茶話会）」を取り入れてみてはいかがでしょうか。

もちまつり



小代支所

認定子ども園、子育て・子育て支援センター、高齢者を対象に、世代間交流事業が12月20日、いこいの里で行われました。



▲さあ、みんなで声を合わせて『よいしょ!』

総勢110名が3グループにわかれ、もちつき、もち丸めときなこまぶし、とんがり帽子つくりを体験しました。

もちつきは子どもたちひとりひとりが杵を持って奮闘。「よいしょ、よいしょ」とかけ声かけて、おじいちゃんと一緒につきました。

次はできたもちを丸めて、きなこをまぶす体験。子どもたちの「まあるくなあれ」「へんな



▲つきたてのあったかいお餅を、粉だらけになりながら丸めます。

形になっちゃった」の声におばあちゃん「上手にできてるよ」とニコニコ顔でこたえました。

クリスマスをとんがり帽子は、キラキラ光るモールを巻いて、ぼんぼんボールをつけて、毛糸のぼんぼりをつけて完成。「テープがはがれん」「これはどうするの」と会話しながら、かわいのができて大喜び!

ぜんざい、きなこもち、とってもおいしくいただきました。

車輜を寄贈 いただきました

昨年12月20日、兵庫県生命保険協会より、軽自動車1台を寄贈いただきました。

訪問活動をはじめ、ボランティア、福祉学習など、地域福祉活動に、幅広く活用させていただきます。



ありがとうございました

平成25年度香美町社会福祉協議会

賛助会費中間報告

(平成25年11月1日～12月27日)

村岡区

▼耀山 西田英雄

▼長板 田渕善人

▼宿 上田常夫

小代区

▼茅野 前垣みつる

▼平野 藤井楊治

25年度累計 248件 891,000円 (敬称略)

ご了解をいただいた方のお名前を掲載させていただきます。

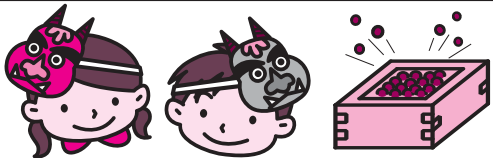
社協のけいじばん

各種相談は町内どこでも受けられます。本所、各支所にお気軽にご相談ください。

※秘密は厳守します。

※相談はいずれも無料です。

～総合相談所のごあんない～

お問い合わせ先	本 所 TEL 0796-39-2050	村岡支所 TEL 0796-98-1000	小代支所 TEL 0796-97-2202
心配ごと相談	とき: 2月19日(水) 13:30～16:00 ところ: 香住老人福祉センター	とき: 2月12日(水) 13:30～16:00 ところ: 村岡老人福祉センター	とき: 2月5日(水) 13:30～16:00 ところ: いこいの里
ほっとHOT (結婚相談)	とき: 2月27日(木) 13:30～16:00 ところ: 香住老人福祉センター	とき: 2月13日(木) 9:30～12:00 ところ: 村岡老人福祉センター	とき: 2月20日(木) 13:30～16:00 ところ: いこいの里
弁護士相談 ※要予約(1人30分)	とき: 2月4日(火) 13:00～16:00 ところ: 香住老人福祉センター 担当者: 谷垣竹夫弁護士		

和村寺萩福村 佐岡河内山岡 父岡岡岡岡	香典返し	九斗	物品預託 (歳末愛の志31,000円)	福祉の志 但馬地域兵庫県職員一同	余部 加鹿野	余部 加鹿野	下浜 濱上	七日市 福島	無日垣 前田	七日市 倉橋	浦上 木村	守柄 中瀬	下森 岡瀬	余部 清水	米地 下原	沖浦 八木	渡辺 幸吉
橘石坂西井田 井本垣上中		山本勝昭 (もち米)			小桶岡濱福前倉木中岡清下八渡 谷本本上島田橋村瀬水原木辺	眞公展貴壽八秀敬哲雄為頼幸 市一明志史重文豊治雄介之子吉											
千晶修覚智源勲																	
預託金合計 534,000円																	
〇お名前は、預託者本人のご意向により掲載しています。																	
皆様からのあたたかいご預託は社協の地域福祉活動に使わせていただきます。ありがとうございました。																	

善意銀行だより
(平成25年12月1日～31日) (預託順・敬称略)

本所

小代支所

香典返し
貫田 澤田 圭一

収集ボランティア
(平成25年12月1日～31日)

古切手等の収集にご協力いただいた皆様をご紹介します。
12月分(預託順・敬称略)古切手・ベルマーク・はがき・テレホンカード

(本所)

一日市 北村 道代
上計 柴山の昔を語る会
沖浦 木村 和夫
若松 もくれん
香住 毛戸工業(株)
沖浦 松森 貴美子
油良 早海新聞 香住専売所
余部 余部小学校
香住 橋法務行政書士事務所

(村岡支所)

宿 上田 薫
長板 藤村 要子
萩山 村岡有機センター

(小代支所)

城山 藤村 明子
明石市 松本 榮子

その他にも、匿名で多くの方に協力いただきました。ありがとうございました。